

| | | |
|--------------------|--|---|
| 案件名 | カーボン・オフセット付きコンクリート保水テープ | |
| 申請者 | 住友スリーエム株式会社 | |
| 案件の概要 | 本商品は、コンクリート養生用に使用される保水テープの、製造工場での省エネ等の CO2 削減活動に可能な限り取り組んだ上で、原材料製造、原材料調達、製品製造、流通工程から排出される CO2 の全量を京都クレジット (CER) でカーボン・オフセットする。 | |
| 認証区分／タイミング | I-1 商品使用・サービス利用オフセット／オフセット済み認証(仮認証) | |
| カーボン・オフセットの主体(帰属先) | 申請者の提供する商品・サービス等の購入者 | |
| 算定範囲 | 原材料製造、原材料調達、製品製造、流通、廃棄のうち、廃棄工程を除いた原材料製造・原材料調達・製品製造・流通工程を対象とする | |
| オフセット量 / 算定排出量 | 83t-CO2(0.47kg-CO2/sqm) ／0.47kg-CO2/sqm | |
| クレジット種別 | 京都クレジット(CER) | |
| プロジェクト名 | インド タミルナドゥ風力発電プロジェクト(国連 CDM 参照番号 0991) | |
| 無効化日 | 2012年2月29日 | |
| 情報公開 | 情報提供事項 | 記述欄 |
| カーボン・オフセットに関する説明 | 申請者名(認証取得者名) | 住友スリーエム株式会社 |
| | カーボン・オフセットの主体の特定 | 商品を購入されたお客様 |
| | 認証対象活動 | 商品の原材料製造、原材料調達、製品製造、流通、廃棄 |
| | 認証有効期間 | 2012年4月1日～2013年3月31日 |
| | カーボン・オフセットの仕組みの説明 | カーボン・オフセットとは、日常生活や企業活動などでどうしても排出されてしまう CO2 等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方 |
| カーボン・オフセットに関する説明 | 地球温暖化対策の喫緊性の説明 | 1990年代に入り、地球温暖化が人類をはじめとする生物界全体に深刻な問題をもたらすことが指摘され始めました。地球温暖化は、すでに異常気象などにより私たちの生活にも影響をもたらしていますが、今後、温暖化による砂漠化の進展や氷原・氷床の減少などの直接的な影響のほか、食糧生産、海岸の浸食、生物種の減少などにも一層深刻な影響がでてくるものと予想されます。さらに、こうした影響の相乗効果により、将来、予想もつかないような異常事態が起こる可能性もあります。地球温暖化の最大の原因とされる、CO2 などの温室効果ガスの排出を少しでも抑制する活動が、現在世界中で求められています。 |
| 算定対象範囲 | 認証対象活動における温室効果ガス排出源 | 商品の原材料製造、原材料調達、製品製造、流通、廃棄 |
| | 算定対象範囲 | 商品の原材料製造、原材料調達、製品製造、流通 |

| | | |
|------------------------------|----------------------------|---|
| 算定方法、算定排出量 | 算定排出量、及びオフセット量もしくはオフセット比率 | 算定排出量 0.47kg-CO2/sqm オフセット量 0.47kg-CO2/sqm |
| | 算定方法(算定式、及び算定方法の根拠とした文書) | <p>原材料製造:原料投入量に、それぞれの原料製造時の排出係数を乗算して算出。 原材料調達:原料投入量に、それぞれの原料調達時の排出係数を乗算して算出。 製造工程:工場での製品あたり投入エネルギーに、エネルギーあたりの排出係数を乗算して算出。 加工工程:工場での製品あたり投入エネルギーに、エネルギーあたりの排出係数を乗算して算出。 出荷:製品の輸送距離に、製品重量と輸送手段ごとのトンキロ排出係数を乗算して算出 (参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル ver3.2、環境省 経済産業省、2011年4月 ・ より理解されやすいLCA手法の研究(社)プラスチック処理促進協会、2008年3月 ・ アクリルエマルジョンの製造、日本エマルジョン工業会、2007年4月 ・ JEMAI-LCA Pro ver2.1.2、(社)産業環境管理協会、2007年9月 ・ 平版輪転インキ(墨)、印刷インキ工業会、2007年3月 |
| 削減努力の実施 | 認証対象活動等に係る排出削減の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造ライン排ガス処理装置の更新 ・ 排ガス処理装置の廃熱の再利用 ・ オープン条件の最適化 ・ これらにより、エネルギー使用量を、消費原単位レベルで2000年度比38%削減した |
| | 申請者自身の排出削減の取組 | 住友スリーエムは、1970年代から「持続可能な発展」への取り組みを進めてきています。2000年12月までに、日本国内全ての拠点でISO14001を取得致しました。また、社員の自発的な改善提案によるエネルギー効率改善活動、エネルギー効率の優れた設備への転換、エネルギー削減を推進する製品製造プロセスの導入、テクニカルセンターの空調設定見直し、照明器具の更新、更には廃棄物の削減に取り組むことで、2009年度はグループ全体で2008年度比約13%の削減を実現しています。スリーエムグループ全体の方針に則り、今後も継続して、大幅なCO2削減について引き続き前向きに取り組んでいきます。 |
| | オフセット主体に対する削減努力の促進に関する情報 | オフセットのみならず、植林をテーマとした商品など、環境配慮製品を多く取り揃え、意識啓発に取り組んでいる。また、製品販売時に地球温暖化の喫緊性およびオフセットの概念、住友スリーエムの企業スタンス等をしっかりとお伝えし、お客様の意識向上をはかっている。 |
| オフセットに用いるクレジットの調達及び排出量の埋め合わせ | クレジットの種類 | CER |
| | 認証制度名 | CDM |
| | プロジェクト名(プロジェクト実施国・実施地域を含む) | インド タミルナドゥ風力発電プロジェクト(国連CDM参照番号0991) |
| | プロジェクトタイプ | 風力発電プロジェクト |

有効期間満了：2013年5月8日

| | | |
|-------------------|--|--|
| | クレジットの調達状況・調達期限・通知方法 | 2012年2月29日までに調達済み |
| | クレジットの無効化状況・無効化方法 | 2012年2月29日までに全量を無効化予定不足が発生する際には、直ちに追加オフセットを実施する。 |
| 販売価格・その他支払いに関する事項 | 商品・サービス当たりの販売価格 | 販売価格はお客様によって異なります。 |
| | 消費者の価格負担(料金への上乗せ)の有無 | オフセットにかかる費用の料金への上乗せは行いません。 |
| | その他支払いに関する事項(申し込みの有効期限、不良品のキャンセル対応、販売数量、引渡し時期、送料、支払い方法、返品期限、返品送料等) | お客様ごとに個別に取り決めさせていただきます。 |
| 販売事業者情報 | 販売事業者名 | — |
| | 運営統括責任者名 | — |
| | 連絡先(所在地、電話番号、e-mail) | — |
| | ウェブサイトリンク先 | — |